
平成21年度予算第二特別委員会質問要旨

○ 局別審査 平成21年3月3日

質問者（質問順）

- 1 渡邊 忠 則 委員（自民党）
- 2 角田 宏 子 委員（自民党）
- 3 小粥 康 弘 委員（民主党）
- 4 望月 康 弘 委員（公明党）
- 5 飯沢 清 人 委員（民ヨコ）
- 6 若林 智 子 委員（無所々）
- 7 河 治 民 夫 委員（共産党）

資 源 循 環 局

局 別 審 査

1 渡 邊 忠 則 委員（自民党）

1 平成21年度予算について

- (1) 21年度予算の編成にあたって、資源循環局の基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 徹底的な見直し・効率化に取り組んだ結果を、どのように21年度予算に反映したのか。
- (3) 将来に向けた投資として、主としてどのような施策に重点的に予算を配分したのか。

2 G30の進ちょく状況と目標について

- (1) 20年度のごみ量の状況は19年度と比較してどうか。
- (2) ごみ量が減少した理由について、どのように考えているのか。
- (3) 21年度のごみ量に対する考え方について伺いたい。

3 発生抑制に向けた取組について

- (1) 発生抑制に向けた取組を進めるにあたっての基本的な考え方について伺いたい。
- (2) 事業者の取組事例について伺いたい。
- (3) 局としての具体的な取組について伺いたい。

4 廃棄物中に含まれるバイオマスの活用について

- (1) 廃棄物中に含まれるバイオマスを活用する意義について伺いたい。
- (2) 取組事例について伺いたい。
- (3) 取組を進めるための課題は何か。
- (4) 今後の取組について伺いたい。

5 環境学習の推進について

- (1) これまでの環境学習の取組について伺いたい。
- (2) G30ひろば設立の目的について伺いたい。
- (3) G30ひろばの利用状況について伺いたい。
- (4) G30ひろばの今後の予定について伺いたい。
- (5) G30コーディネーターの状況について伺いたい。
- (6) G30コーディネーターの活動について伺いたい。
- (7) 今後の方向性について伺いたい。

6 処分場の延命化と焼却灰の資源化について

- (1) 最終処分場での過去3年間の埋立量の推移はどうか。また、埋立ての進捗率はどうか。
 - (2) 最終処分場の埋立計画はどうなっているか。
 - (3) 南本牧ふ頭第5ブロック処分場の計画概要と整備状況について伺いたい。
 - (4) 焼却灰資源化の取組状況について伺いたい。
 - (5) PFI手法を用いたセメント原料化事業
 - ア 本事業の概要について伺いたい。
 - イ 事業費はどれくらいになるのか。
 - ウ PFI手法による効果はどのようなものか。
 - (6) 焼却灰資源化の今後の進め方について伺いたい。
- (要望)焼却灰の資源化は、最終処分場の延命化や環境への負荷を低減して地球環境を守ることにもつながる取組なので、地元の意見もしっかりと受け止め、最新技術の検討も踏まえ、計画的に進めることを要望します。

7 喫煙対策について

- (1) 喫煙禁止地区における1年間の実績と効果はどうか。
- (2) 現在の課題とその対応策は何か。
- (3) 外国人への周知をどのように図っているのか。
- (4) 外国人への対応方法はどのようにしているのか。

(5) 他の地区には喫煙所を設置する考えはないのか。

8 家庭ごみ収集運搬業務の委託について

(1) 委託を拡大することによる21年度の経費削減効果について伺いたい。

(2) 燃やすごみの収集を市が行っていくこととした具体的な理由について伺いたい。

(3) 今年度と21年度の委託率と、プラスチック製容器包装と缶・びん・ペットボトルの収集を民間に全て委託した場合の、最終的な委託率について伺いたい。

2 角 田 宏 子 委 員 (自 民 党)

1 収入の確保について

- (1) 21年度は、売電する電力量、すなわち、売電量をどのくらい見込んでいるのか、20年度と比較してどうか。
- (2) 21年度の売電収入は、どの程度と見込んでいるのか、20年度と比較してどうか。
- (3) 売電収入の減少率が、売電量の減少率に比べて小さい理由は何か。
- (4) 売電収入確保のために、電力の売却について、どのような工夫を行っているのか。
- (5) 本市の資源物の売払への影響はどうか。
- (6) 売払収入の今後の見通しについて伺いたい。
- (7) 資源物の売払収入確保に向けた具体的な対策は検討しているのか。

2 ペットボトルリサイクルの推進について

- (1) これまで本市のペットボトルはどのようにリサイクルされていたのか。
- (2) ペットボトルリサイクルの引き取りの現状について伺いたい。
- (3) 契約解除後、分別されたペットボトルは、現在、どのように処理されているのか。
- (4) 指定法人に引き渡した場合のリサイクルの履行確認について伺いたい。

3 次期一般廃棄物処理基本計画について

- (1) G30プランの評価について伺いたい。
- (2) 次期一般廃棄物処理基本計画を策定するにあたっての視点について伺いたい。
- (3) 次期一般廃棄物処理基本計画策定の進め方について伺いたい。

4 安全・安定な焼却について

- (1) ごみ量に合わせて22年度から、保土ヶ谷工場を一時休止することだが、

他工場の負荷が過大となるようなことはないのか。

- (2) 保土ヶ谷工場を一時休止するにあたり、中継施設を整備することとした理由は何か。
- (3) 中継施設は、どのようなものを考え、どのような工夫をしているのか。
- (4) 保土ヶ谷工場の一時休止で、経費面での節減効果をどれくらいと見込んでいるのか。
- (5) 今後の工場整備を、どのように考えているのか。

5 財団法人かながわ廃棄物処理事業団について

- (1) 取りまとめられた経営改善計画について、局長はどのように考えているのか。
 - (2) 前年度と比較して20年度末にどのくらいの搬入が行われると見込んでいるのか。
 - (3) 計画に掲げた38,000トンの産業廃棄物の搬入確保について、どのような取組を考えているのか。
 - (4) 25年度以降の経営について、長期的な視点からの検討が必要ではないかと思うがどうか。
 - (5) 経営改善検討委員会にどのようなことを期待しているのか。
 - (6) 今後、事業団の経営改善にどのような決意で臨むつもりなのか、副市長に伺いたい。
- (要望) 経営再建が一日も早く実現するよう取組を強化することを要望します。

6 戸塚区品濃町最終処分場問題について

- (1) 20年度にはどのような工事が行われているのか。また、21年度にはどのような工事を予定しているのか。
- (2) 擁壁の設置工事や処分場の整形工事に伴い、滞留しているガスが周辺に拡散することが懸念されるが、どのように対応するのか。
- (3) 設置者や排出事業者に対する責任追及をこれまでどのように行ってきたのか。また、今後、どのような取組を予定しているのか。
- (4) 地方交付税の不交付団体となった現在において、この制度を活用して事業を

進めるメリットはあるのか。

(5) 工事期間中には、周辺にどのように情報を提供していくのか。

(6) 改善工事が完了した後の処分場はどのような姿になるのか。

(要望) 処分場の敷地は、改善工事が終われば多くの周辺住民の方が待ち望んでいた跡地となり、また、多額の市費をかけた土地ともなるため、適切に管理することを要望します。

3 小 粥 康 弘 委員（民主党）

1 燃やすごみの収集回数変更について

- (1) 収集回数変更による、20年度の経費削減効果と、ごみ量の変化についてはどの程度であったのか。また、それを局としてどのように評価しているのか。
- (2) 収集回数変更について、市民からはどのような声が寄せられているのか。
- (3) 6月から9月まで週3回収集してほしいという市民からの意見について、どのように考えているのか。
- (4) 燃やすごみの収集回数について、21年度はどのように実施するのか。
(要望) 通年の週2回収集に向けた検討を要望します。

2 家庭ごみ収集運搬業務委託について

- (1) 西区、中区、栄区のプラスチック製容器包装の収集委託を行ってきた評価と、今後の他区への委託の進め方について伺いたい。
- (2) これまで行ってきた西区、中区、栄区の燃やすごみの収集委託の評価について伺いたい。
- (3) これまでの行政区別の委託から、行政区別かつ品目別の委託に切り替えることとした考え方と今後の進め方について伺いたい。
(要望) 燃やすごみの先行3区の直営化には職員を確保する必要があることから、しっかりとした計画性を持って進めることを要望します。

3 資源物の売却状況とG30地域還元について

- (1) 世界的な景気後退による、ペットボトルをはじめとした再生資源の市況の下落によって、本市資源物の売却価格はどのように変化しているのか。
- (2) 昨年のG30地域還元事業について、地域からはどのような声が寄せられているのか。
- (3) 事業費を3億円から2億円の減額した理由と、今後の事業継続の考え方について伺いたい。

(要望) 減額の影響を最小限とするとともに地域還元の額の決定や継続の判断についてわかりやすい基準を設定し、広く周知することを要望します。

4 喫煙禁止地区の取組について

(1) 過料処分の適用者数がなかなか減らないことの原因と対策は何か。

(2) 鶴見駅周辺地区と東神奈川・仲木戸駅周辺地区を喫煙禁止地区に指定した理由は何か。

(3) 地域に不満が残らないようエリアの境界線を定める際の考え方は何か。

(4) 今後の新設・拡大に関する考え方と、地域活動主体型の喫煙禁止地区を選定する際の考え方はどうか。

(要望) 二俣川・鶴ヶ峰の両駅などは地域活動主体型の喫煙禁止地区への指定を要望します。

(5) 開港150周年記念イベント開催期間中の喫煙禁止地区内での対応やイベント会場での禁煙・分煙対策はどのように行っていくのか。

(要望) 開港150周年記念イベントの国内外からの来場者に対して横浜市の禁煙・分煙の取組を積極的にアピールすることを要望します。

5 新たな環境への取組について

(1) 生ごみの資源化に取り組む目的とガス化に取り組む意義について伺いたい。

(2) 保土ヶ谷工場で焼却していたごみを発電効率の高い、他工場で焼却した場合の環境負荷の変化について伺いたい。

(3) CO-DO30を資源循環局としてリードする今後の意気込みについて伺いたい。

6 職員力の発揮について

(1) 現場職員の自由・自発的な発想に基づく新たな取組について伺いたい。

(2) 21年度予算では局として現場職員の自発的活動に対してどのように対応しているのか。

(3) 現場職員の取組の広がりに対して、局長はどのような感想を持っているのか。

4 望 月 康 弘 委員（公明党）

1 平成21年度予算編成にあたって

- (1) 具体的にどのような点を工夫したのか。
- (2) 環境モデル都市において、資源循環局はどのような役割を担っていくのか。

2 分別の徹底と定着について

- (1) 調査や指導を行う中での課題について伺いたい。
 - (2) 勧告を受けた市民のうち、集合住宅に居住の方はどのくらいだったのか。
 - (3) 対策の必要な集合住宅にはどのような傾向があるのか。
 - (4) 居住期間が短い単身者向け賃貸住宅では、特に入居時の説明が重要と思うがどうか。
 - (5) 管理会社やオーナーに対し、具体的にはどのような対策を依頼しているのか。
 - (6) 本市の要請に対し、管理会社やオーナーなどの反応はどうか、理解・協力は得られているのか。
 - (7) 分別を徹底するために、集合住宅対策は継続的に取り組むことが必要と考えるがどうか。
- (要望) これまでの取組と併せて、集合住宅の管理者に対して、地域還元の制度を活用して、分別に便利な器具類等の物品を支援したり、収集事務所職員が直接アドバイスを行うなど、更なる取組を工夫することを要望します。

3 生ごみの回収・資源化の推進について

- (1) 「G30生ごみマイスター事業」はどのようなものなのか、概要を伺いたい。
- (2) どのような内容を検証するのか。
- (3) 20年度のこれまでの実施状況はどうか。
- (4) 実施エリアの拡大の考え方について伺いたい。
- (5) バイオガス化の概要を伺いたい。

- (6) 新たに取り組むバイオガス化にはどのようなメリットがあるのか。
- (7) 家庭用電気式生ごみ処理機について、新年度の助成の概要を伺いたい。
- (8) 助成上限額が削減された理由は何か、また、この助成制度に対して、今後どのように取り組んでいくのか。
- (要望) 今後の事業展開に当たっては、大規模な事業のみならず、各家庭での地道な取組への支援も継続するよう要望します。

4 ポイ捨て・喫煙禁止条例について

- (1) 条例に基づき過料処分を科した者のうち、納付書による納付を申し出た者はどのくらいいるのか。
- (2) 納付書の納付率はどの程度か。
- (3) 納付書の納付率は他の政令市と比べてどうか。
- (4) 未納者に対する対策はどのように考えているのか。
- (5) 処分の公平性の担保についてどのように考えているのか。
- (6) 喫煙所の設置について経費や維持管理はどのように考えているのか。
- (7) 喫煙所の設置について、喫煙されない方への配慮はどうするのか。
- (要望) 喫煙所の維持管理には費用がかかるとともに、設置については賛否両論あるので、今後の喫煙所のあり方については包括的に検討するよう要望します。

5 市民サービスアップについて

- (1) 過去3か年の狭路収集の実績について伺いたい。
- (2) 狭路収集を実施している中での課題について伺いたい。
- (3) 高齢者等の安否確認を行うにあたっての、現在の進ちょく状況について伺いたい。
- (4) 安否確認の具体的な実施方法について伺いたい。

5 飯 沢 清 人 委 員 (民 ヨ コ)

1 局事業の見直しについて

- (1) 西区、中区、栄区の3区で実施している民間委託の意義と課題について伺いたい。
- (2) 家庭ごみ収集業務における行政が果たすべき役割について伺いたい。

2 収集業務のコスト削減について

- (1) 年収額別の職員数及び年収の分布、1人あたりの年間調整額について伺いたい。
- (2) 調整額を支給することになった経緯について伺いたい。
- (3) 調整額について経過措置をとった理由について伺いたい。
- (4) 収集コスト削減に向けたこれまでの取組内容及び今後の取組について伺いたい。

3 財団法人横浜市資源循環公社について

- (1) 資源選別センターの再委託見直しについて伺いたい。
- (2) 公社と締結している協約の経営改善の内容について伺いたい。
- (3) 19年度包括外部監査で意見が出された粗大ごみ収集運搬業務委託についての改善内容について伺いたい。
- (4) その他に公社への業務委託に関する包括外部監査の意見等について行った改善内容について伺いたい。
- (5) 公社が自立した運営を行うために、今後どうあるべきか。
(要望) 直営の高コストを改善するため公社を株式会社化する等、資源循環局が公社とともに経営改善に向けた改革の取組を進めていくことを要望します。

6 若林智子委員（無所ク）

1 財団法人かながわ廃棄物処理事業団について

- (1) 現時点で今年度の搬入量は見込み通り確保できるのかどうか。
- (2) 新年度の前倒しをして、今年度の搬入量の目標を確保することなのか。
- (3) 21年度以降の搬入量を38,000トンと見込んでいるが、どのような予測により、算出したものなのか。
- (4) 16年度、19年度、20年度の各年度における、焼却炉の月平均運転日数について伺いたい。
- (5) 21年度に1億円をかけて大規模修繕を予定しているようだが、過去の焼却炉の停止状況と現在の稼働状況を踏まえた場合、少なすぎるように思われるが、問題の先送りではないのか。
- (6) 事業団に対して支払っている負担金は、更に膨らむおそれがあるのか。
- (7) 経営改善計画の中で設定されている負担金は上限の目安として考えていいのか。
- (8) 負担金は何に基づいて支出されているのか、算出根拠はどうなっているのか。
- (9) 負担目的、負担割合、負担上限に関する基準はないということか。
- (10) 負担金を拠出しつづけることは許されないと思うがどうか。
- (11) 公共貸付金の繰延べは、どのような経緯で決定したのか。
- (12) 11月5日の執行会議では経営改善計画が確定していない段階でどのような議論がされたのか。
- (13) 事業団設立の趣旨に照らしてこれまでの事業についてどのような評価をしているか。
- (14) クリーンセンターの稼働前と比べて、県内の産業廃棄物処理業者による、焼却処理施設数、焼却処理能力は、どのように変化しているのか。
- (15) クリーンセンターの稼働前も稼働後も民間事業者によって順調に処理施設が整備されているようだが、どう考えるか。
- (16) 産業廃棄物の県内総排出量と県外委託中間処理量はどのように変化している

のか。

(17) 18年度の県内の産業廃棄物の総排出量に対して、事業団の処理した廃棄物はどの程度の量となっているか。

(18) クリーンセンターのモデル性についてどう考えているのか。

(19) 県内処理、適正処理にインセンティブが働く法制度を整備していくことこそが重要であると考えますが、どのように考えるか、副市長に伺いたい。

(20) 仮に、今年度末で事業を撤退をした場合、市の損失はどの程度見込まれるのか。

(21) 損失補償の契約内容は主権債務者である事業団がその債務を履行しないとき、その履行を市に負わせるということではないか。

(22) もし損失補償契約が違法であり、無効ということになれば、かながわ廃棄物処理事業団が現時点で破綻した場合の損失8億9,700万円にとどまるのではないか。

(要望) かながわグリーンセンターを継続させて破綻した場合、その年毎に1億3,800万円の負担金が上乗せされることから、今後あり方を検討していただくよう要望します。

1 ごみの発生抑制について

- (1) G30エコパートナー協定の効果と評価について伺いたい。
- (2) 協定事業者の拡大が必要と思うかどうか。
- (3) 協定事業者の数値目標はあるのか。
- (4) 過剰包装などを改善するために、販売業者の責任を明確にし、発生抑制の強化を図るべきと思うかどうか。また国への働きかけはどうか。

2 燃やすごみを減らす取組について

- (1) 地域での生ごみ堆肥化などの取組の掌握状況とそれに対する局の評価について伺いたい。
- (2) 市民団体の協力を得て生ごみ減量化に力を入れるべきではないかと思うかどうか。
- (3) 団体や地域の取組に可能な支援をすべきと思うかどうか。
- (4) 紙類などに付着するセロハンテープなどの不純物についての考え方について伺いたい。
- (5) 紙類に付着した不純物の許容範囲はどのくらいか。
- (6) 破れた衣類は、古布としてリサイクルすべきではないか。

3 資源回収ボックスについて

- (1) 資源回収ボックスの位置づけと評価について伺いたい。
 - (2) 資源回収ボックスの設置箇所を増やして出す機会を広げるべきと考えるかどうか。
- (要望) 燃やすごみを極力減らすために当局の更なるリードを要請します。